

◇————◇
公益社団法人 日本航空機操縦士協会

メールマガジン Vol.168 2025/9/16
◇————◇

いつも JAPA メールマガジンをご愛読頂きありがとうございます。
今号は以下の内容でお送りいたします。

★—INDEX—★

- [1] 【三役コラム】パイロット不足
- [2] 【航空局】航空局主催 令和7年度「安全運航セミナー」
の開催について
- [3] 【航空局】（お知らせ）防衛省の破壊措置ノータム
（北朝鮮による「衛星」発射）の期間延長について
- [4] 【航空局】羽田空港 Runway22 および Runway23 :
消灯灯火の復旧工事完了時期について
- [5] 【会員限定】操縦教育証明学科試験ガイド
（旧インストラクターハンドブック）電子書籍公開のお知らせ
- [6] 【JAPASHOP】2025 年版学科試験スタディガイド発売日
（9/25）のお知らせ
- [7] 【お知らせ】FTD 利用料金・利用体系が一部変更にな
ります。（2025.10.1 付）
- [8] 【お知らせ】2026 年版 PILOT HANDBOOK（手帳）配布
申し込み締め切りについて
- [9] 【VOICES FEEDBACK】
 - <①>ブロックイン直前に異臭
 - <②>不確実な座席ロック
- [10] 【お知らせ】JAPA E-Journal の公開
- [11] 【お知らせ】セミナー・イベント
- [12] 【ご案内】公益社団法人 日本航空機操縦士協会 ご入会について

- ★————
- [1] 【三役コラム】パイロット不足



皆様こんにちは。

9月となりました。国内の航空会社では早くも2027年度4月入社の自社養成パイロット採用に向けたエントリー開始を行っている会社もあるようです。

2027年度4月という採用活動の本格的な開始は来年春以降にて、早すぎる気もしますが、航空会社としても人財確保に苦慮しており早期に優秀な人材を確保したい事情があるようです。

そんな事情に少しフォーカスしますと、元々コロナ禍以前より「2030年問題」として、現役パイロットの多くが2030年前後に定年を迎える課題が想定/対応されていました。しかし、コロナ禍により操縦士の総数自体が減少したり、航空会社が自社養成パイロットの基礎訓練フェーズにおける訓練を委託していた海外養成機関の経営悪化により自社養成の縮小をせざるを得なかった事情があったようです。

対応策として、パイロットの定年延長を実施したり、外国籍パイロットの採用を実施しているようですが、定年延長は課題の根本的な解決とはなっておらず、外国籍パイロットは世界的な獲得競争激化により給与が高騰しており確保が困難になっているようです。

航空会社によっては在籍のパイロットの3割以上が55才以上であったり、コロナ禍以前に採用していた外国籍運航乗務員の3割程度しか復帰していないといった切実な課題を抱えた航空会社もあるようです。

新人の採用についても、コロナ禍にて航空業界の苦境が報じられたことによる航空業界志望人気の低下、航空大学校や私立大学の操縦士養成課程においても物価高における訓

練費用の高騰化や操縦士養成に関わる教官、整備士の人材不足といった課題に直面しており、養成が順調に進捗していないといった事情があるようです。

コロナ渦が収束し、航空需要が回復するとともに、海外からの旺盛なインバウンド需要もあり、操縦士の必要数は今後も増加するものと見込まれています。私自身、航空会社に所属し業務を行っておりますが、労働環境や仕事のやりがい等、これから就職をされる若い方々に自信をもっておすすめ出来る職場でもあります。

お知り合いの方で「パイロットになりたい!」「パイロットに興味がある」という方がいらっしゃいましたら、是非各社のパイロット採用やパイロット養成機関のホームページのご確認をご案内頂ければと思います。



[2]【航空局】航空局主催 令和7年度「安全運航セミナー」の開催について



航空局では、小型航空機に係る事故の再発防止・未然防止の観点から、小型航空機の操縦士をはじめとする関係者を対象とした「安全運航セミナー」を毎年開催しています。

今年度も昨年同様に対面及びリモートによるハイブリッド形式で開催するとの通知がありましたので、ご案内いたします。

詳細はこちらをご参照ください。

<https://www.japa.or.jp/11256>



[3]【航空局】（お知らせ）防衛省の破壊措置ノータム（北朝鮮による「衛星」発射）の期間延長について



航空局より、従前から発行されておりました防衛省の破壊措置（北朝鮮による「衛星」発射）に係るノータムについて、設定期間が「令和7年11月21日午前0時（日本時間）（予定）」まで延長になる新たなノータムが発行されましたので、お知らせいたします。

詳細はこちらをご参照ください。

<https://www.japa.or.jp/11091>



[4]【航空局】羽田空港 Runway22 および Runway23 :
消灯灯火の復旧工事完了時期について



国土交通省が主催する「羽田空港航空機衝突事故調査検討委員会」では、各方面からの意見をもとに再発防止に向けた種々の対策を検討しています。

その中で、操縦士団体として参加する JAPA は、運航現場から寄せられた意見をもとに、長期間に渡って一部消灯状態であった Runway22 および Runway23 の滑走路灯火の早期復旧を提案し、安全上の観点で協議を重ねて来ました。

その結果、2025 年度末に完了予定であった復旧工事は、2025 年末に 3 ヶ月繰り上げて完了させる旨の報告を航空局より受領しました。

詳細はこちらをご参照ください。

<https://www.japa.or.jp/11048>

羽田空港 RWY22 灯火復旧完了イメージ動画はこちら
<https://www.youtube.com/watch?v=0BULCLTwWMc>



[5] 【会員限定】 操縦教育証明学科試験ガイド

(旧インストラクターハンドブック) 電子書籍公開のお知らせ



操縦教育証明学科試験の試験科目は、航空法施行規則の別表に定める①操縦教育の実施要領、②危険及び事故の防止法、③救急法の三項目についてです。

これらを網羅する参考文献をすべて個別にそろえることは、受験者にとって大きな負担であったため、日本航空機操縦士協会は 2013 年に導入された選択式試験に対応した内容で例題集も掲載した「インストラクターハンドブック (Instructor Handbook)」を発行し、受験者への利便性を図ってきました。

そしてこの度の CBT 化及び最近の改正法令等に合う内容への改訂の必要性が検討された結果、例題集は「学科試験スタディガイド」に集約し、「インストラクターハンドブック (Instructor Handbook)」は「操縦教育証明学科試験受験ガイド」として学習参考書に特化するように再編集されました。

詳細はこちらをご参照ください。

https://www.japa.or.jp/japa-shop/japa-books#blk_03



[6] 【JAPASHOP】 2025 年版学科試験スタディガイド発売日

(9/25) のお知らせ



2017 年以降、航空従事者技能証明学科試験の問題が国土交通省ホームページに公開されてきました。日本航空機操縦士協会(JAPA)は、官民合同の「航空従事者学科試験

問題検討会」を通じて、標準的な問題の精査と整理を行い、約 2,500 問から厳選した問題をスタディガイドとして毎年発行してきました。

しかし、2023 年 11 月から試験は CBT(Computer-Based Testing)方式となり、非公開のデータベースからランダムに出題される形式に変更されました。それに伴い過去問の精査と整理を目的とした検討会はその任務を終えたとして解散になりました。

2024 年 8 月に国土交通省がホームページにおいて、例題集(サンプル問題)として、CBT 方式の問題を公開されたことから、それを受けて、新たに航空従事者技能証明学科試験を受験する方の手助けとなるよう、JAPA に学科試験問題例題集編集検討会が設置され、このスタディガイドの刊行に至りました。

詳細やご購入はこちらをご参照ください。

<https://www.japa.or.jp/japa-shop>



[7] 【お知らせ】 FTD 利用料金・利用体系が一部変更になります。(2025.10.1 付)



詳細はこちらをご参照ください。

<https://www.japa.or.jp/ftd>



[8] 【お知らせ】 2026 年版 PILOT HANDBOOK (手帳) 配布申し込み締め切りについて



2026 年版 PILOT HANDBOOK の配布お申込み

についてですが、8/31 をもちまして終了致しました。

9/1 以降のお申込みにつきましては、
2027 年版 PILOT HANDBOOK の配布お申込みとなります。

よろしくお願いいたします。

詳細はこちらをご参照ください。

<https://www.japa.or.jp/11174>



[9] 【VOICES FEEDBACK】

<①> ブロックイン直前に異臭

<②> 不確実な座席ロック



①成田空港 RWY 16L に着陸後、ランプエリアに入り L ENG を Shutdown し、1 ENG Taxi (Single ENG Taxi) を行った。スポットに後 2～3m でブロックインというところで、コックピット内に通常とは明らかに異なるエンジンの排気臭を 3 人とも確認。まずブロックインに専念し、Parking Brake をセットして R ENG も Shutdown してからすぐに客室にオールコール。客室内に煙などは無いものの、エンジンの排気臭はするとのこと。外を確認してもらったが、「エンジンに異常はなさそうだが、L2～L4 の非常口ウインドウが曇っているのか、煙なのかははっきりしない」と言われた。我々はテールパイプファイアーを疑い、念のためランプコントロールに特に左エンジン周りから煙や炎が上がってないか質問した。ランプから特に異常は無さそうと報告を受けた頃、整備ともつながり、特にエンジン周りに異常がないかもう一度確認してもらったが異常なし。コックピットの Indication でも異常を示すメッセージはなく、そうこうしているうちに臭いも収まってきた。この一連の安全確認のため、ベルトサインを消灯させるまで 5 分ほどかかった。

②離着陸訓練中、前段の訓練生から後段の訓練生に空中交代して1回目の離陸時、浮揚して Gear Lever を操作する前に突如として左席のロックが外れ、シートが後方へ移動した。シートの移動と同時に機首上げ操作が行われ、急速な Pitch up と Stall Warning の鳴動を確認した。Take Over の構えはしてあったため、急速な Pitch up とほぼ同時に抑えることができ、完全に Stall に入る前に Take Over することで難を逃れた。昨年も2件ほど座席ロックに関する安全報告が提出され、その他過去にも同種事例があることは知っていたが、当該訓練生も当該課程の後半ということもあり、空中交代した後も座席ロックに関する注意喚起は行っていなかった。右席からは座席ロックの状態は目視確認できないため、訓練開始間もない頃、空中交代した後、特に単独飛行前には改めて座席ロックに関しての注意喚起と、着陸時のみでなくどんな時でも Take Over の態勢を維持することが重要であることを再認識した。

VOICES コメント

的確で迅速な Take Over で難を逃れましたね。過去にシート
のロックピンの不具合で座席が下がったときに操縦桿を引い
て、機体が失速して墜落した事故がありました。型式毎に
ロック方法の特徴がありますので、訓練生着席時には教官が
確実にシートロックがかかっていることを再確認させる必要
があるかもしれませんね。

【参考】：サーキュラー 令和4年4月1日一部改正（国空機第
1190号）整理番号 No. 3-015「離陸滑走および上昇中における
操縦者座席の移動に起因する事故の防止について」で類似事
象につき、注意喚起がされています。



[10] 【お知らせ】 JAPA E-Journal の公開



E-Journal を公開致しました。

ぜひご覧ください。

《運航技術委員会》

【JAPA E-Journal 2025-008】離陸中止の意思決定

【JAPA E-Journal 2025-007】LSA の革新 MOSAIC 承認版の概要

【JAPA E-Journal 2025-006】ランプでの作業に潜む危険性

【JAPA E-Journal 2025-005】高度逸脱の事例から

【JAPA E-Journal 2025-004】整備の伝統

【JAPA E-Journal 2025-003】ジェネラル・アビエーションの話題から

【JAPA E-Journal 2025-002】LSA の概要

<https://www.japa.or.jp/e-journal>



[11] 【お知らせ】 セミナー・イベント



《航空安全講習会》

10月12日 東京 / ハイブリット形式（来場＋オンライン）

11月23日 大阪 / ハイブリット形式（来場＋オンライン）

<https://member2.japa.or.jp/seminar/detail.php?sid=3>

《RNAV 講演会》

10月5日 東京/オンライン開催

2026年1月11日 東京/オンライン開催

<https://member2.japa.or.jp/seminar/detail.php?sid=2>

《TEM/CRM セミナー》

9月26日 東京/オンライン開催※SRM セミナー

<https://member2.japa.or.jp/seminar/detail.php?sid=1>

《Fly with us～空の仕事ワークショップ～》

10月25日 大阪開催

<https://member2.japa.or.jp/seminar/detail.php?sid=4>

《ATS シンポジウム》

10月18日 オンライン開催

<https://member2.japa.or.jp/seminar/detail.php?sid=8>

★

[12] 【ご案内】公益社団法人 日本航空機操縦士協会 ご入会について

★

JAPA では会員を募集しております。

ご入会いただけますと、AIM JAPAN の配布の他、団体割引を適用した、JAPA 団体保険（ロスオブライセンス）へのご加入も可能ですので、ぜひご検討ください。

詳細は以下ホームページよりご覧ください。

オンライン入会を導入いたしましたので JAPA ホームページからすぐに入会手続き可能です。

皆様のご入会を心よりお待ちしております。

<https://www.japa.or.jp/member>

★次回の配信は10月中旬を予定しております★

JAPA メールマガジンの配信先変更方法及び配信停止方法については以下、ご参照の上、お手続きください。

<https://www.japa.or.jp/mail-magazine>

【発行】公益社団法人 日本航空機操縦士協会

電話 03-6809-2902

メール japa@japa.or.jp

ホームページ <https://www.japa.or.jp/>
